

単元 資質・能力	実施時期													質的ルーブリック（判断基準）		
	1 学期					2 学期					3 学期			考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
	評論「水の東西」	随想「今ここにある無数の未知」	小説「羅生門」	評論「聴くということ」	詩歌「汚れつちまつた悲しみに…」 「I was born」 「夏の姿」	評論「時間と自由の関係について」	言語活動「情報を読み取る」	小説「城の崎にて」	評論「生物の多様性とは何か」	詩歌「短歌抄・俳句抄」	小説「富嶽百景」	評論「手を見つめる」	評論「テルミヌスの変身」			
表現・協働・学びにおける資質・能力																
コンピテンシーを活用することができる。 *各番号のコンピテンシー評価基準は本表最下部に示す。	【CS】 ①③ ⑦⑧ 【CA】 ⑨⑩ ⑭⑮	【CS】 ②③ ⑦⑧ 【CA】 ⑨⑩ ⑭⑮	【CS】 ②③ ⑥⑦ 【CA】 ⑪⑫ ⑮⑯	【CS】 ①③ ⑦⑧ 【CA】 ⑨⑩ ⑭⑮	【CS】 ②③ ⑤⑥ 【CA】 ⑩⑪ ⑫⑯	【CS】 ①③ ⑦⑧ 【CA】 ⑨⑩ ⑭⑮	【CS】 ④⑤ ⑦⑧ 【CA】 ⑨⑩ ⑪⑫	【CS】 ②③ ⑥⑦ 【CA】 ⑪⑫ ⑮⑯	【CS】 ③⑤ ⑥⑦ 【CA】 ⑩⑪ ⑬⑯	【CS】 ②③ ⑤⑥ 【CA】 ⑩⑪ ⑫⑯	【CS】 ②③ ⑥⑦ 【CA】 ⑪⑫ ⑮⑯	【CS】 ①③ ⑦⑧ 【CA】 ⑨⑩ ⑭⑮	【CS】 ①③ ⑦⑧ 【CA】 ⑨⑩ ⑭⑮	表現・協働・学びに必要なコンピテンシーについて、その内容と必要性を理解することができる。	各単元の学習における表現・協働・学びに、指定されたコンピテンシーを活用することができる。	学習の深化のため、表現・協働・学びが求められる場面において、自ら判断してコンピテンシーを選択し、それらを複合的に活用することができる。
評論単元における資質・能力																
常用漢字の読み書きができ、難解な語句の意味を解することができる。	○	○		○		○		○	○			○	○	語句の知識を持つことができる。	語句の知識を、文章中の文脈に即して適用することができる。	語句の知識を、さまざまな読解や表現活動に生かすことができる。
筆者の用いている定義に着目し、筆者の主張について正確に理解することができる。		◎		○		○								定義の役割を理解し、文章中に定義を発見できる。	定義を文章の主題理解につなげることができる。	定義を、さまざまな読解や表現活動に生かすことができる。
筆者の意図した対比構造を意識し、比較されたものの違いについて読み取ることができる。	◎					◎								対比の役割を理解し、対比されているものを文章中から発見できる。	対比を文章の主題理解につなげることができる。	対比を、さまざまな読解や表現活動に生かすことができる。
筆者の用いている論理展開を意識し、筆者の主張について明確に理解することができる。				◎										論理を展開する上での文章構成の役割を理解し、論理展開における各段落の役割を理解することができる。	論理展開における各段落の役割理解を、主題理解につなげることができる。	論理展開を、さまざまな読解や表現活動に生かすことができる。
定義・対比・論理展開を意識して、表現された主題を読み取ることができる。	○	○		○		○			◎			◎	◎	定義・対比・論理展開の知識を文章中に発見し、それをもとに文章の主題を考えることができる。	定義・対比・論理展開の知識を文章中に発見し、それをもとに文章の主題を正確に理解することができる。	定義・対比・論理展開をもとにした主題論述の方法を、さまざまな読解や表現活動に生かすことができる。
小説単元における資質・能力																
語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を読解や表現に活用することができる。			○					○			○			特定語句の役割と各語の意味を理解できる。	文章中に用いられた特定語句について、文脈に即して表現された意味を考えることができる。	文章中に用いられた特定語句について、それを用いた表現者の意図を考えることができる。

別紙様式 2 - ②

小説に使われる比喩表現や情景描写から、人物の心情を想像し理解することができる。			◎					○			○			比喩表現や風景描写による人物の心情描写について知識を持ち、文章中に発見できる。	比喩表現や風景描写による人物の心情描写から、登場人物の心情を想像し理解することができる。	比喩表現や風景描写による人物の心情描写を、さまざまな読解や表現活動に生かすことができる。
文章に描かれた人物の心情変化を意識して、創作意図を読み取ることができる。			○								○			登場人物の心情変化が契機によって引き起こされることを理解し、それを文章中に発見できる。	登場人物の心情変化を引き起こした契機から、心情変化の理由を考えることができる。	登場人物の心情変化を引き起こした契機から、作者の表現意図を考えることができる。
文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。								◎			◎			表現の特徴の知識を持ち、それを文章中に発見できる。	表現の特徴から、描かれた登場人物の心情を、内容に即して想像できる。	表現の特徴と想像した登場人物の心情から、作者の表現意図を考えることができる。
詩歌単元における資質・能力																
韻文の修辞技巧の効果について理解することができる。					○					○				韻文における修辞法について、知識を持つことができる。	韻文における修辞法を、韻文の内容理解につなげることができる。	韻文における修辞法知識を、さまざまな韻文理解や表現活動に生かすことができる。
韻文に暗示された作者の心情を描写に即して読み取ることができる。					◎					◎				韻文の表現上の特徴を発見できる。	韻文の表現上の特徴をもとに、作者の心情を想像することができる。	韻文から読み取った作者の心情を、他者と交流し相互評価できる。
言語活動単元における資質・能力																
得た情報や考えたことに基づいて話し合い、考えを深めることができる。	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	情報に積極的に関与し、得た情報を整理することができる。	整理した情報に基づいて、自己の考えを構築し、表明することができる。	他者の考えを正しく聴き取り、自己の考えと他者の考えとの共通点と相違点を踏まえた発言ができる。
得た情報をもとに考えたことを論理的に発表・記述できる。	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	情報の信憑性を確かめ、自己の主張とその根拠や例を検討できる。	検討した主張・根拠・例示について、相対化してその妥当性を確かめることができる。	妥当性のある主張・根拠・例示を用いて他者に考えを伝えるための意見発表や論述を行うことができる。
主な学習活動（協議、討論、発表等）	討論	発表	協議	討論	発表	討論	協議 発表	協議	討論	発表	協議	討論	討論			

*授業で活用する「コンピテンシー」と評価規準

核となる「技能」=Core Skill 【CS】		
合意形成系統		
①ディスカッション	複数名で1つのテーマについて議論し結論を導き出すことができる。(収束的)	
	〈聴く側〉 他者の意見を否定せずに聴くことができる。 自分とは異なる意見を受け容れる姿勢を持つことができる。 自分と他者の意見との違いを整理しながら聴くことができる。 他者の意見を聴こうとする姿勢を持つことができる。(好意的傾聴) 必要に応じて質問しメモをとることができる。(思考の深化)	〈話す側〉 他者にわかりやすいよう整理して話すことができる。(論理的思考) 他者に聞こえるよう必要な声量を保つことができる。 他者に伝わりやすいよう抑揚をつけるなど工夫をすることができる。 他者との意見の違いを整理しながら話すことができる。

別紙様式 2 - ②

②セッション	複数名で1つのテーマについて考えを自由に出し合うことができる。(拡散的)	
	〈聴く側〉 他者の意見を否定せずに聴くことができる。 他者の意見を聴こうとする姿勢を持つことができる。(好意的傾聴) 必要に応じて質問しメモをとることができる。(思考の深化)	〈話す側〉 他者にわかりやすいよう整理して話すことができる。(論理的思考) 他者に聞こえるよう必要な声量を保つことができる。 他者に伝わりやすいよう抑揚をつけるなど工夫をすることができる。
	2名で考えを述べ合うことができる。(収束的または拡散的)	
	〈聴く側〉 他者の意見を否定せずに聴くことができる。 他者の意見を聴こうとする姿勢を持つことができる。(好意的傾聴)	〈話す側〉 他者にわかりやすいよう整理して話すことができる。(論理的思考) 他者に聞こえるよう必要な声量を保つことができる。
調査検証系統		
④スタディースキル	研究の方法を理解し活用することができる。 「仮説検証」型の研究方法を理解している。 課題の「背景」解決の「制約」今後の「状況変化」を踏まえて仮説を立てることができる。 調査結果をもとに立てた仮説に対する客観的な分析をすることができる。	
⑤リサーチスキル	調査の方法を理解し活用することができる。 調査の目的を整理することができる。 調査を正確に行うための調査対象の選定方法を理解している。 調査実施に向けた具体的方法を理解している。 調査結果を効果的に伝える図表のまとめ方を理解している。	
思考表現系統		
⑥スピーチスキル	聴衆に向かって話す方法を理解し活用することができる。 場に合わせた声の大きさと話すことができる。 自分が理解されたい自分のイメージをつくって演じることができる。 重要な個所の話し方について工夫をすることができる。 文字を音声化する際に聴きやすい間を考慮することができる。 背筋を伸ばす胸を張る少しだけ顎を引くなど話す姿勢を意識できる。 身振り手振りをなどのボディーランゲージを適度に交えることができる。	
⑦ロジカルシンキング	論理的に考える方法を理解し活用することができる。 「批判的思考」に関する具体的知識を獲得している。 他者の意見を客観的に分析しその説得力を客観的に判断することができる。	
⑧ライティング	考えを文章にする方法を理解し活用することができる。 文章の構成を意識して表現できる。 主張根拠例示を文章に順序立てて表現することができる。 誤字や言葉の誤用を自分で修正できる。	
核となる「態度」= Core Attitude【CA】		
協働系統		
⑨協調性	他者と同調して行動しようとすることができる。	
⑩柔軟性	自分と異なる考えも受け止め理解しようとすることができる。	

別紙様式 2 - ②

⑪適応力	どのような状況にも自分を合わせて行動することができる。
⑫忍耐力	自分の意にそぐわないことも我慢強く受け止めることができる。
⑬回復力	自分の誤りを指摘された場合にも修正し改善することができる。
統率系統	
⑭リーダーシップ	複数名のグループを結論に向かって導くことができる。
⑮積極性	主体的にものごとに取り組むことができる。
⑯責任感	役割や発言したことを最後まで実行しようとすることができる。

意欲態度，価値観倫理観	考え基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用ひろがり (Extensions)
地域に貢献できる技能知識を身に付け，世界を拓く能力を身につける。	社会で求められる知識技能を具体的に理解し，獲得しようとする。	社会で求められる知識技能を教科の学習において活用しようとする。	社会における課題を解決する際に，選択して知識技能を活用しようとする。
礼節やマナーなどの態度を尊び，品格のある人間に成長する。	他者との協働における適切な態度を具体的に理解し，実践しようとする。	他者との協働における適切な態度を教科の学習において実践しようとする。	他者と協働して社会における課題を解決する際に，選択して適切な態度を実践しようとする。